



第 397 号 平成 23 年 8 月 1 日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町 601-1 こどもみらい館 2 階

T E L (075) 256-0351

F A X (075) 241-3568

発行人 奥村正治

## 第33回近畿学校保健連絡協議会

会 長 奥 村 正 治

平成23年7月14日(木)に奈良市ならまちセンターで第33回近畿学校保健連絡協議会が開催された。毎年この頃に開催されます。学校保健の会ですので学校保健会が主催する事になります。もうご存じと思いますが、この学校保健会は、学校関係者(教育委員会・校長会・保健主事会・養護部会など)と学校三師(学校医、眼科耳鼻科も含む・歯科医・薬剤師)とPTAの集まりです。今回は、その代表者が近畿ブロック単位で集まりました。従いましてその会の会場は、近畿二府四県で持ち回りとなります。出席団体は、近畿二府四県と政令指定都市(京都市・大阪市・堺市・神戸市)の10団体です。約200名が集まりました。今年は奈良県が当番となりました。会場の「ならまちセンター」は奈良の有名な猿沢の池のすぐ傍でした。市民ホール(300席)や会議室、図書館が併設されておりました。その市民ホールで開催されました。

学校保健会が主催とはいえ、学校関係者の主導で開催されます。一日の午後開催され、今回は、研究協議と講演でした。講演が出席者をグループ分けされ、課題別協議に変わることも有ります。研究協議と言っても研究し協議をするわけでもなく、各県・都市より共通の課題を発表し開催県が取りまとめをするという、変な研究協議である。変な研究協議ではありますが、京都市の分をご覧にいます。

課題の一つ、「本年度の大会概要・研究報告・課

題・特色ある活動等について」は、

1) 平成23年5月22日に第62回指定都市学校保健協議会を京都市で開催。

本市から①「性に関する教育」～WYSHプロジェクトを導入して～

②MRⅢ期の中学校を会場にした集団接種について報告

2) 学校三師会と教育委員会との懇談会をはじめ、校医会では教育委員会を含め、校園長会・養護教育研究会とも学校保健に関して協議

3) MRⅢ期の集団接種をはじめ、予防接種の啓発や接種率向上等に向け、教育委員会はもとより保健部局とも協力

課題の二つ目は、「(財)日本学校保健会を通じて、国への「学校保健」の充実に関する要望等について」

1) 学校健診(内科健診・特に中高生)において、上半身着衣なしの健診を行う際、プライバシー保護をはじめ、脱衣しやすい環境を整えることが必要であり、この課題に対応した間仕切り方法や部屋のレイアウト等、国が推奨する健診方法の複数例示を求める。

2) 学校における現行の結核健康診断について、実効性のある健診となるよう早急に見直しを求める。

3) 放射能について、現行の定点観測以外の個所で観測が必要となった場合は、国の責任で基

準を設け実施し、結果を速やかに公表するよう求める。また、各学校等で放射能測定が必要となった場合は、測定機器の配備や人的支援も含め財政支援を速やかに行うよう求める。

- 4) 薬剤やエピペン等を処方されている子ども等の情報について、プライバシーに配慮したうえで、学校薬剤師への情報提供の在り方など、必要に応じた連携が図れるようガイドライン等に盛り込むよう求める。
- 5) スクールカウンセラー配置の推進と活動時間の確保、並びに健康教育の充実のため、養護教諭の複数配置等を求める。
- 6) シャワー施設の整備等保健室機能の充実（予算面での支援）を求める。
- 7) 泊を伴う学習や行事における看護師等の派遣

支援や事業の創設を求める。

となっています。

言いつばなしの協議です。本当に日本学校保健会に届いているのか？文部科学省に届いているのか？何時も疑問です。昨年ですが、薬剤師会の会長さん、原田先生が「どのようにまとめたのか？どの分を日本学校保健会に報告したのか？」質問なさったが、返答なし。今年も同様でした。改善を祈ります。

次の講演は、奈良市のホープ姜昌勲（きょうまさのり）先生の「思春期のこころの対応」のお話でした。

奈良も京都にそっくりです。暑い暑い日で有りました。ただ違うのは、奈良の大仏さん、世界一大きい仏像です。お菓子も大きいのが有りました。看護師さんのお土産は、ジャンボ三笠でした。

---

## 第25回京都市小学生水泳記録会に参加して

今熊野小学校 長村吉朗

7月28日西京極の京都アクアリーナにおいて、第25回京都市小学生水泳記録会が開催され、私が医務班として参加して参りましたので報告いたします。

私が医務班として参加するようになって3年目となりますこの記録会は、平日の午前からの開催で常任理事の先生が仕事の為暇な私が出ることとなりました。開会前の9時から練習時間で、昨年の1371名を上回る1544名の参加者が笛の合図で次々とプールに飛び込む始まりでした。この記録会への参加は100m以上泳げることとなっているはずですが、初めての本格的な競泳用プールの為か、練習の時点で途中で泳げなくなる子供が昨年あたりから多く見かけるようになってきています。深さが1番端で2m、端から5mの地点からは3mでは小学生では全く背が立ちません。また全長50mで学校の25mとは長さ

が違います。多くの生徒が25m地点でのギブアップをしています。ゴールがはるか彼方に見えるのでしょうか。本番はやや時間が遅れながらも借りている5時までわずかを残し、閉会式まで何とか行うことが出来ました。多くの生徒にこの経験を味あわせてあげたいのですが、これ以上参加者が増えると時間配分が難しくなるでしょう。

さてその間の怪我の数は4名で、多くは例年の通り切り傷で特に問題となる事はありませんでした。競泳用のプールはコースロープが波を押さえる目的で、プラスチックの堅く縁がやや薄いものの為それにふれて手や足を切るようです。また多くの学校では飛び込みを練習していないせいか飛び込みが下手で、腹打ちやこわごわ水に入る子ども達が多かったのが目立ちました。昨年ある学校で飛び込みの練習

をしたところ事故が起こった為、今年は今全員プールに入っのスタートとすることも検討されたようですが、それでは記録としてはおもしろくありません。また水中からのスタートの子供にフライングが多くあったようにも思われます。記録としては例年より悪い記録が多かった中で男子200mクロールリレーで京都教育大学附属桃山小が2分8秒という大会記

録を8秒も縮める新記録を出しました。大文字駅伝を始め国立、私立の参加を認めているのですが、附属桃山は3年前に一度参加しただけでした。私事ですが母校であり非常にうれしかったのですが、担当校の今熊野小学校が記録を出してくれればもっとうれしいのと思った一日でした。

## 運動器検診 — その2

北野中学校医 林 鐘 声

モデル校として運動器検診に初めて取り組んだ結果は昨年の11月号で報告しました。床に指先のつかない生徒7.8%、しゃがめない生徒11.7%、どちらもあるいはどちらかに該当する生徒は18%に及ぶこと、男子に多く、運動部に入っいても非運動部員と同じく柔軟性に欠ける生徒が多いことが驚きでした。学校保健委員会に報告し、体育授業のみならず運動部での柔軟性への取り組みを充実させることの約束を頂きました。果して効果があったのでしょうか。1年後の結果を報告します。

昨年は中学1年生と2年生を対象とし、今年は今全

学年を対象としました。中学2年生と3年生については昨年の個人結果とつき合わせて検討しました。方法は、昨年と同様に側弯、O脚、X脚などの姿勢をチェックした後、3つの動作をさせ、出来なかつた生徒を陽性者としてしました(表1)。①両腕の挙上が出来なかつたのは昨年同様0人、②前屈して指先が床につかないのは23人(6.1%)、③踵をつけたまましゃがみこめないのは23人(6.1%)でした。②③ともに出来ないのは3人、計43人(11.3%)が陽性者でした。18%からは改善していました。それは、中学1年生の陽性者率が8.6%(11/128)と低いこ

表1 : 動作テストの陽性者

		対象者	①手が挙がらない	②指先が床につかない	③しゃがめない	②③合併	②③の陽性者
1年	男	56	0	3	5	1	7
	女	72	0	4	0	0	4
2年	男	63	0	6	7	1	12
	女	66	0	3	4	1	6
3年	男	54	0	4	3	0	7
	女	68	0	3	4	0	7
計		379	0	23 (6.1%)	23 (6.1%)	3	43 (11.3%)

とと、昨年の陽性者への指導効果から2年生14.0% (18/129), 3年生11.5% (14/122) と低下したためです。男女の陽性者率では, 男15.0% (26/173), 女8.3% (17/206) と男に高く出ていたのは昨年と同様でした。

昨年との比較のため, 中学2年生129人, 3年生122人, 計251人を対象に検討しました(表2, 3)。

昨年と比べて対象者が5人減っているのは, 4人は欠席, 1人は膝外傷から運動器検診が出来なかったためです。この5人は昨年の動作テストに異常のなかった例でした。前屈して指先が床につくかのテストでは(表2), 昨年, 床につかなかったのは20人, うち10人が今年つくようになった一方で, 新たに不可となったのが6人でした。合計して4人減。しゃがみこみテストでは(表3), 昨年30人が出来なかったうち15人が可能となる一方で, 3人が新たに不可となり, 12人の減となっていました。床につくようになった10人の内訳では, 9人が運動部員, 1人は部活していない生徒, 新たな陽性者の6人は全員運動部員でした。2年とも不可であった10人では6人が運動部員, 4人が非運動部員でした。同様に, しゃがみこみが可となった15人をみると, 14人が運動部員, 1人は美術部員, 新たに不可となったのは運動部員の3人でした。2年とも不可であった15人では, 8人は運動部員, 7人が非運動部員でした。即ち, 改善した生徒の殆どは運動部員であるとともに, 悪化した生徒のすべてが運動部員であったということは,

表2 : 指先が床につく

		2010年度		
		不可	可	計
2011年度	不可	10	6	16
	可	10	225	235
	計	20	231	251

対象者 : 中学2年生, 3年生 (2011年度)

表3 : しゃがみこみ

		2010年度		
		不可	可	計
2011年度	不可	15	3	18
	可	15	218	233
	計	30	221	251

対象者 : 中学2年生, 3年生 (2011年度)

出来ない生徒は出来るようになるよう努力し, 出来ていた生徒は無頓着となったために出来なくなったと推測しています。非運動部員の陽性者に殆ど改善が認められなかったのは, 柔軟性の改善に取り組む姿勢に欠けている, 関心がない, 肉体的制約があるのが要因と考えられました。学校現場で柔軟性に意識をもたせる指導のいることがうかがわれました。

表4：運動部員と非運動部員と陽性者の関係

		運動部員		非運動部員		計	
		人数	(陽性者)	人数	(陽性者)	人数	(陽性者)
1年	男	52	(7)	4	(0)	56	(7)
	女	51	(4)	21	(0)	72	(4)
2年	男	59	(10)	4	(2)	63	(12)
	女	41	(3)	25	(3)	66	(6)
3年	男	51	(6)	3	(1)	54	(7)
	女	36	(3)	32	(4)	68	(7)
計		290	(33)	89	(10)	379	(43)

表4に各学年毎、男女毎での運動部員か否かと陽性者の関係を示しました。男の運動部員の率は各学年間に差はなく、全体で93.7% (162/173)、女は学年が進むと減る傾向にあり、全体で62.1% (128/206) でした。男11人、女78人の非運動部員の陽性者は10人で、彼らは昨年も陽性者でした。前屈して床に指先がつかないのが4人、しゃがみ込めないのが7人、うち1人は両方の陽性者でした。運動部員の陽性者率は非運動部員の11.2% (10/89) と差のない11.4% (33/290) でしたが、男の陽性者率14.2% (23/162) は女の7.8% (10/128) と比べて高値でした。運動によって敏捷性や柔軟性を高めるべき年代にもかかわらず、運動をしないあるいは得意でない非運動部員よりも陽性者率が高いのは、指導のあり方に問題があると云わざるを得ません。昨年よりは全体的に改善しているとは云え、柔軟性に意識を向けた取り組みをクラブ毎で指導していくことが望まれる結果でした。

クラブによる特徴も認められました。前屈して床に手がつかないのはサッカー部員で、24人中4人、しゃがめないのはバスケットボール部員46人中7人

と明らかな片寄りが認められました。スポーツ特性があるものとみえ、その指導も工夫のいるところと考えられました。また、野球肘、テニス肘など特有の障害の出やすい運動クラブがあります。この検診後、女子のバスケットボール部員が練習中に膝の前十字靭帯をきる外傷が2人続いて起こりました。練習法の改善点、予防法はないかと尋ねられ、バスケットボールに詳しい整形外科医から、部員、クラブ顧問、養護教諭などを前にレクチャーしてもらうように致しました。当日は診察があり参加できず残念でしたが、運動器検診の今後の方向性はこんな所にもあると理解しています。



# 全 理 事 会

平成23年8月6日

於 ラ・リサーチ

**出席者** 奥村会長，林・竹内副会長，井本専務理事，  
藤田・大久保・杉本各常任理事，佐野眼科  
学校医会副会長，星谷・鈴木各耳鼻咽喉科  
専門医会理事，坂中・橋平・辻幸子各理事，  
長村監事

## ・会長挨拶

・各支部活動 中西支部（坂中先生），東山支部  
（橋平先生），伏見支部（辻先生）  
より支部活動報告

## <報告事項>

1. 南支部会 7/2
2. 発達障害児(者)の受診支援を考える～思いやりの医療サポート 7/9 於：京都府医師会館
3. 第1回給食事業安全衛生委員会 7/11
4. 腎臓相談 7/12 2名
5. 色覚相談 7/12 2名，7/19 1名
6. 第33回近畿学校保健連絡協議会 7/14  
於：奈良市ならまちセンター市民ホール  
（本号参照）

会員名簿（平成22年6月発行）の訂正，追加，変更等

### 【住所変更】

総合支援学校支部（P57）

白河総合支援 岡田 俊

〒466-8550 名古屋大学医学部附属病院  
親と子どもの心療科

☎ 052（744）2282

☎ 052（744）2293

7. 精神衛生研究会 7/14
8. 第11回京都「こどもの心とからだ」教育講演会  
7/16 於：こどもみらい館
9. 校園長部会との懇談会 7/16 於：萬重
10. 府医 第7回学校保健委員会 7/20  
於：京都府医師会館
11. 府医 第2回学校医部会幹事会 7/21  
於：京都府医師会館
12. 養護教育研究会との懇談会 7/23  
於：ラニオン
13. 「給食調理員・栄養教諭・学校栄養職員」のメンタルヘルス講演会 7/27
14. 京都市小学生水泳記録会 7/28  
於：アクアリーナ（本号参照）
15. その他

## <協議事項>

1. ツベルクリン反応について
2. 教育委員会との懇談会について
3. その他

## <関連学会・各種協議>

1. 色覚相談 8/9，8/23，8/30
2. 東日本大震災にて東北地方より京都へ移住された児童・生徒の心のケア相談  
8/18 15：00～ 於：こどもみらい館
3. 常任理事会 9/3 14：00～

## ＝お詫びと訂正＝

校医ニュース396号6頁

常任理事会 第2回 → 第3回

平成23年6月4日 → 7月2日

誤っておりましたので，お詫びし訂正いたします。